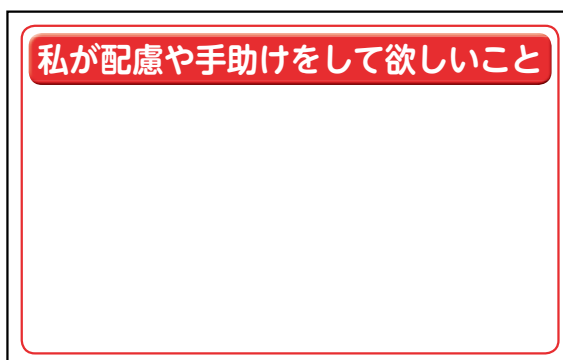


知っていますか？ ヘルプカード



「手助けが必要な人」と「手助けする人」を結ぶカードです

★こんな人が持っています

- 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方、認知症の方など、外見から援助を必要としていることが分かりにくい方
- 急な出来事に臨機応変な対応をするのが難しい方
- 視覚や聴覚に障害があるため、状況の把握が難しい方 など

★こんなときに役立ちます

災害のとき



避難場所で過ごすとき

緊急のとき



パニックや発作、病気の時

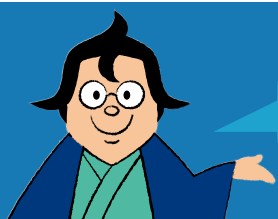
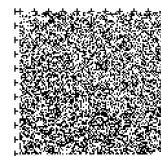
日常的に



ちょっとした手助けがほしいとき

ヘルプカードを提示

必要とする支援が伝わります



お問い合わせ先

船橋市役所福祉サービス部障害福祉課

TEL:047-436-2345

FAX:047-433-5566

ヘルプカードの使い方

★記載例

ふりがな 名前 船橋 太郎			
住所 船橋市湊町2-10-25			
性別	血液型	RH±	生年月日
男	A (B)・O・AB	+・-	S00年 1月 1日
障害名 病名	〇〇障害		
連絡先			
名前	船橋 花子	関係(母)	
電話番号	070-0000-0000		
名前		関係()	
電話番号			
医療機関(かかりつけ)連絡先			
医療機関名	〇〇病院		
担当医名	〇〇科	船橋 一朗先生	
電話番号	080-0000-0000		

私が配慮や手助けをして欲しいこと

配慮や手助けしてほしいことを記載してください

例えば、意識がなくなったときに、カードを持っているかどうかの確認自体が難しくなるから、カバンなど見て分かるところに取付けておくと、すぐに気づいてもらいやすいよ。



次のようなことを書いてください。

○障害のある方

- ・耳が聞こえにくいので、手話または筆談で会話をお願いします。
- ・会話を理解するのが苦手です。わかりやすい言葉でゆっくりと話してください。
- ・呼吸器に障害があり、疲れやすいです。

○難病や持病がある方など

- ・発作があります／〇〇アレルギーがあります。
- ・パニックになることがあります。その時は静かな場所に誘導をお願いします。

○高齢の方

- ・認知症があります。一人でいたり、道に迷っていたりしたら下記の電話番号に連絡してください(家族連絡先)〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

「不自由なこと、苦手なこと、病気や病状」と一緒に「手助けしてほしいこと」を書くと、より周囲の方が理解しやすくなります。

★ヘルプカードの持ち歩き方



・財布の中に入れる



・パスケースに入れてカバンに付ける



・カードホルダーに入れて首から下げる

★ヘルプカードの配布場所

- ・障害福祉課 ・療育支援課
- ・保健所地域保健課 ・各保健センター
- ・身体障害者福祉センター
- ・船橋駅前総合窓口センター

(フェイスビル5階) 13番窓口

※船橋市ホームページからダウンロードも出来ます。